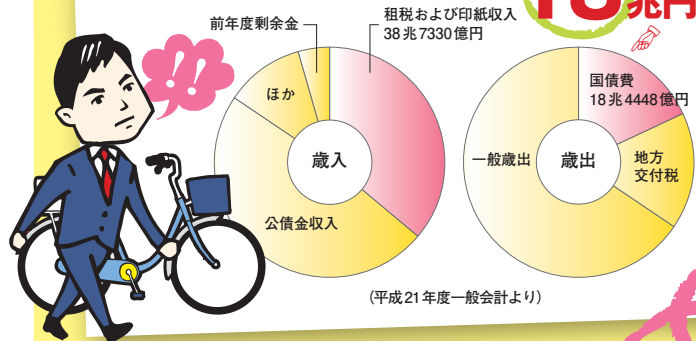


【国の債務残高推移】



900兆円

【年収約40兆円に対し国債費は18兆円！】



18兆円

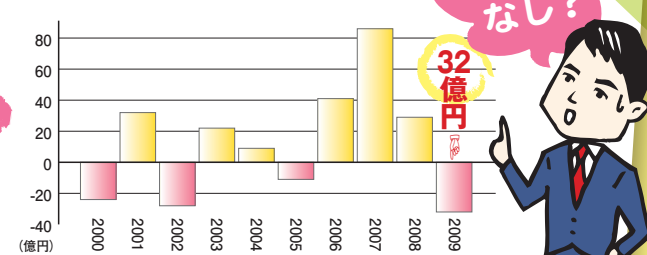
財政状況が厳しい日本!

子どもたち大丈夫?

投資・金融ビジネスにたずさわってきた私の立場から見ると、今の日本の財政状況は厳しく、子どもたちの未来を守っていけるものとはいえません。

失われた20年といわれる自民党・公明党政権時代に積み上げてきた、日本の借金。社会が変わり、税金が伸び悩む中、国の長期債務残高は900兆円を突破し、1年間で税金が40兆円に満たないのに、国債費だけで18兆円を超えます。

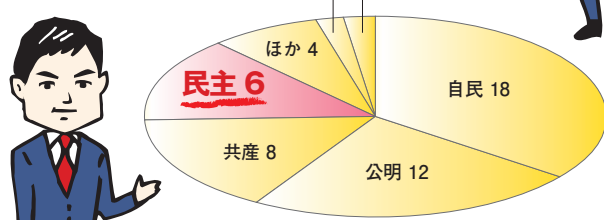
【大田区の実質単年度収支の推移】



言及なし?

32億円

【大田区議会構成】



大田区では区民の皆さんの声を反映する民主党はまだまだ少数派。良識ある皆様の応援をお願い致します。

大田区政も当然、同じ!

国レベルでの厳しい財政状況は、大田区政でも変わりません。大田区の平成21年度の実質単年度収支は32億円の赤字。(※表面上の収支は黒字でしたが、財政基金の取崩しを除くと赤字。)しかしながら、区議会各派の決算への意見は、各派、表面上の収支についての意見に終始。実質単年度収支への言及はありませんでした。



そればかりか、公明党、共産党はさらなる歳出拡大を主張しています。一方で、民主党は議席シェア12%の少数会派ですが、住民参加型の事業仕訳の必要性を述べています。

政治業界だけの経験

特定支持団体, 既存の政治家

経済・数字・法律に明るい多様なビジネス経験, 新人・岡高志

古いしきたりに囚われない、新しい政治。

岡高志は信託銀行・米国系投資会社といった投資・金融業界の第一線で12年間まじめにビジネスに取り組んできました。

「小さな政府」って弱者切り捨て?

一見、そのように感じられるかもしれません。しかし、税金が伸び悩む中で、従来のように福祉に十分な資金が配分できない懸念があります。私が志向している「小さな政府」は、弱者を大切にすることはもちろんですが、それだけでなく、ご近所の人々、社会全体で助け合っていく「大きくあたたか」な社会です。その旗振り役を、地域の政治家として担ってまいります。

今のセーフティーネットは充分?

おカネだけでなく、社会とのつながりをもつことで、自立した生活もできると考えていますが、今までの行政依存型のセーフティーネットでは十分に対応できません。ご近所、社会全体で助け合う体制が必要だと考え、現在、政策学校で生活保護受給者などの弱い立場の人たちとふれ合っています。

子どもたちの明るい未来を守るために

行政運営のコストを抑制し、子育て世代の未来を見据えた安全安心の財政をまもるため、1人の父親として、働く大人として、納税者として、大田区の行財政改革に取り組みます。

岡高志 解決のKey

減税へ!

行財政改革

大田区でも行財政改革に取り組む動きはありますが、区の職員が主体の「行政評価」では、甘い評価になってしまいがち。平成22年度からは外部評価も実施されていますが、本来は区議会議員が先頭に立っておこなうべき。私、岡高志は区民の皆さまにとって本当に大切な行政サービスは何か、人員・運営を見直し、最終的に行政コストをおさえ減税につなげていきます。

議員定数25名で約3億5千万円削減!

議員定数半減

大田区区議会の定数を削減し、まずは自分たちを正さなければなりません。地方議会の定数上限は地方自治法で東京の特別区では56人と定められています(人口50万以上90万未満の市も56人が上限)。削減は条例で決定できます。現在の大田区区議会の定数は50人と、上限より低いとはいえ、大勢の立候補者から1人を選べますか?大田区区議



会の選挙区は区割りがありませんが、区内に選挙区を複数作る合理性はありません。市町村合併などにより、地域性が異なるなどの背景があれば別ですが、全ての大田区民の代表として行動すべきだと考えます。半数の25人が適正ではないでしょうか。実に年収ベースで約3億5千万円が削減できます。もちろん、少数精鋭の区議会議員による議論の活発化が本旨です。

岡高志の政治への志

今までは、1人の会社員として政治業界には全く無縁でした。

投資・金融ビジネスにたずさわる中で、

行政作用が非効率であったり、ややもすると民間ビジネスの足を引っ張るなど不満をもっていました。

家庭をもち、父親として、子どもたちの未来に責任をもつ立場になり

傍観者ではなく、自分も責任をもって政治を支えていこうと決意しました。



行財政改革 議員定数半減 25名に 蒲田の活性化 金メダリストの育成 新エネルギーの開発

大田区を誇れるまちへ

皆様の大田区は、海・川・公園・グラウンド、羽田空港、工業の集積、温泉、そして皆様1人ひとりという資源で一杯。魅力を磨き発信し、一層誇りある街へと変革します。

■蒲田駅周辺を活性化します。

蒲田駅周辺を国際空港羽田のゲートシティへ。JR・東急の蒲田駅と京急蒲田駅とのアクセスは改善が必要。そこで、駅間をつなぐシャトルバスを提案します。そして商店街も国際都市へオンリーワンのまちづくりを目指します。

■ナンバーワンじゃなきゃダメなんです。

金メダリストを大田区から! 競泳の北島康介選手のようなトップアスリートが地元出身だと嬉しいですね。スポーツ熱もあがり、健康増進!

■新エネルギーの開発

大田区の技術を結集して次世代エネルギーを開発します。

